



子どもの泉

子どもの泉 第39号
2017年10月1日発行

京都造形芸術大学
芸術文化情報センター
ピッコリー



〒606-8271
京都市左京区北白川生山2-116
TEL: 075-791-8013
FAX: 075-791-3318
<http://www.piccoli.jp/>

「親の思い、子の思い」

子育てには、喜びや楽しみとともに不安や悩みがつきものである。私自身、2人の子どもの子育て奮闘中であるが、誕生するまでは「母子ともに元気で」と願っていたのに、無事誕生した途端「寝かせ方が悪いのでは」、「水泳は早く習ったほうがいい」、「1年間は仕事せずに子育てしたほうがよかったのでは?可哀そうよ」と親は色々と言いはじめる。私自身、大概のことはポジティブにとらえる性格で、周りの話を聞き流すこともできるが、2人目が誕生し、息子が5か月の時に復職すると、生活も心も一変…これが予想以上だった。

以前は、夜中パソコンに向かって文句を言う人はいない。夕食後自分にご褒美と“甘いもの”を食べていても、誰かに取られることはない。休みの日には、いつもより1時間遅く起き、パジャマのまま遅い朝ごはんを食べても気兼ね無用だった。しかし2人目ができてからは違う。夜遅い時間に電気をつけていると「まぶしいから消して」と娘に言われ、皆が寝静まった頃こっそり大好きな“きんつば”を食べていると「あっ、私が好きなのよ」と眠い目をこすり起きてくる。「これ、夜に食べるとびりびりするよ。(口を痛そうにして)ほらね」とごまかそうとするが「大丈夫、そういうのが好きなん」と嬉しそうに答える。朝5時、“ずりばい”の速さが増してきた息子に顔を押しさえつけられ起床。ニコッと笑う息子に罪はないが、私の顔には数本の傷ができ化粧では隠せない。一度起きたら、止まらない。360度這いまわる。二度寝…もう何年していないだろう。部屋の埃が体についた息子をみて、「この子の服にモップ付いたら床が綺麗になるかも」と特許取得計画を妄想し、馬鹿なことを考えてると自嘲して、いつもの朝が始まる。

我が家の出勤前の送迎は時間との闘い。そこに娘のマイペースさが加わり、息子の便の具合も3時間“ずりばい”した後なので調子がいい。「さあ、出発しよう」という時に限って背中まで埋もれている場合があり、全身お着換えのてんやわんや。すっきり快適の息子はご満悦。こちらは、汗だくで、「行くよー」と一声。「あれっ?娘の声がしない」と思っていると、玄関先でニコニコとこっちを見て立っている。そして、落ち着いた口調で、「お母ちゃん、優しい気持ちになるよ!」と玄関に飾ってあった造花を一本手渡され、最後に、「おかあちゃん、大丈夫だよ」と再び満面の笑み。あまりに表情が怖かったのだろうか、ばたばたして「可哀想に」と思ったのか、それとも言っただけ「早く早く」の言葉を連呼していたのだろうか。娘に「うわあ、ありがとうね!」と言いながら、心で「ごめんごめん…」と言った。

私は授業で、「保育者は、子どもたちから学ぶ姿勢を忘れてはいけない」と伝えている。そして家では「親は子どもたちから学ぶ姿勢を忘れては…あかんよなあ」と日々猛省している。

平野 知見 (ひらのともみ)

京都造形芸術大学
こども芸術学科 准教授

オーストラリア NSW 州のマッコーリー大学で幼児教育を学び保育に携わる。帰国後「日本における多文化保育・教育」について研究しながら、保育者研修や講演等も行っている。好きな言葉は「挑戦」。

隔週金曜の午前中は、乳幼児とその保護者を対象とした催し「トットクラブ」の時間。ピッコリーではおもちゃをいつもよりたくさん出して、赤ちゃんたちを迎えます。申込不要で入退室は自由、ただ遊ぶだけのひとときですが、子育て中のおしゃべりや、赤ちゃんの気分転換の機会になればと運営しています。おわりには、わらべうたや赤ちゃん絵本を紹介する15分間の「おはなし会」をします。

近年は子育て支援の需要が高まり、図書館での乳幼児サービスも当たり前になりました。地方自治体と図書館が連携して行なう「ブックスタート」事業をご存知でしょうか？0歳児健診などの機会に、赤ちゃんと保護者に「絵本」を手渡し、読み語りのひとときを「体験」してもらおう活動です。1992年に英国で発祥し、世界中に広まりましたが、海外では移民増加に対応した識字率の向上が目的であるのに対し、日本では赤ちゃんとのコミュニケーションの一助として歓迎されることになりました。いまでは多くのお父さん・お母さんが、「赤ちゃんに絵本をよむことは楽しくて役に立つ」ことを、よくご存知です。

はじめて赤ちゃんに絵本をよんだ日、そのまっすぐなまなざしが、

絵本よりも、読み手の顔にむかってくるのが印象的でした。触れ合ううちに、赤ちゃんは何にでも興味を持ち、絵本やおもちゃを喜ぶけれど、なによりも人の「声」や「表情」に、ひときわ強く反応するのだと実感するようになりました。つまり赤ちゃんは、誰かと話すのが大好きなのです。生きてゆく上で最も大切な「人と対話すること」をまず身につけようとする、命のしくみは本当に不思議です。

赤ちゃんにどんな絵本をよんだらいいですかとは、よく寄せられる質問です。もしあなたが多くの子どもに接する保育士のような立場なら、よりよい絵本を選ぶ責任が生まれます（次ページの絵本紹介をご覧ください）。でもそうでなければ、あなたと赤ちゃんの対話がはずむものを、好みで選べば十分です。

目まぐるしい日々の中、やっとひと息ついて赤ちゃんをだっこし、一緒に同じ一冊に向かう。たった5分の絵本への旅、そのひとときで、赤ちゃんも読み手もリフレッシュできますように。ピッコリーはそんなお力添えをしたいと願っています。（大橋）

- ・じどうかんによく行ってた。
- ・（妹は）バナナをよくたべる。（7才女兒）

弟が生まれる時ほいくえんにいって、かえりにガムをかってとおねだりして、かってもらったしゅんかん弟がうまれたとしてびっくりした。（8才女兒）

おなかにいたときしゃっくりした。うまれてからもしゃっくりをしていた。（8才女兒）

おなかのなかにいたときの事を聞いてみると、「おふろに入ってるみたいにあったかった…」って娘が言っていました。（2才女兒のお母さん）

おなかにいたときにおかあさんがCDをかけてくれた。（8才女兒）

ママはわたしがぜんぜんねない子どもだったと言う。（9才女兒）



良く寝て、良くおっぱいを飲む赤ちゃんでした。私のミルクの飲ませ方が気に入らなかつたらしく、生後3週間からほ乳びんを自分で持ってミルクを飲んでいました。（8才女兒のお母さん）

小さく産まれた赤ちゃんでしたが、たくさんおっぱいを飲み、気がつけばまん丸に！やせっぽちゃだったと言っても信じてもらえないほどにフクフクになりました。（4才女兒のお母さん）

おぼえてない。（11才女兒）？

まったく0~3才までの記憶がない。（10才男児）

よくないていた。よくおぼえていない。（11才女兒）

アンケート 「赤ちゃんだったころのこと、おぼえてる？」

赤ちゃんだったころのこと、おぼえてる？なんでもいいからおしえてね。家族や知り合いの赤ちゃんのこともいいよ。

寝返りが遅く、家族（おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、両親）みんなで練習をしていた。あと一歩のところまでまわれなかった事が懐かしいです。（2才女兒のお母さん）

私が1ヶ月の時に記録のために8ミリビデオを父が買ったそうです。1ヶ月~1才児までの私の成長記録のビデオはDVDに焼いてあります。今もときどき見えています。（23才女性）

ベビーカーに乗る時は、必ず両足をパーの上に乗せて座っていて、「かんろくがあるね(^_^)」とよく笑われました。（7才男児のお母さん）

● スタッフ / めぐみ

母いわく「全然手のかからない子どもだったよ〜」。初産なのに痛くなかったのと聞いたら、陣痛促進剤が効いてすりと産まれたらしい。ある日、泣き止まないで医者にみせたら、ぷくぷくの手首のしわの間に輪ゴムが埋もれていただけだった、という健康ぶり。なかなか卒乳せず、一芝居うって「いたた…」とおっぱいが痛いふりをすると、「いたいの？」と母を心配して飲まなくなったそうで。話だけ聞くと、なんていい子なの！と勘違いするけど、要はうちの母が並々ならぬほめ上手なのです。ちやほやとほめられた結果、外にでると苦労するわけで、園の先生には決してなつかず、弟と「家の居心地が良すぎたよね…」と言いつつ合っています。

● スタッフ / あや

私は生まれたときから、とにかく寝つきが悪かったようです。抱っこで苦労して寝かしつけても、布団におろそうとすると途端に泣き出すため、一晩中母が抱っこしたこともあったと聞かされました。2歳のときには、夜中に「おもちゃで遊ぶ」と言って聞かないため、「電気を消して暗くしたら寝るだろう」と思いつつ様子を見たら、豆球の明かりだけでずっと一人で遊んでいたそうです。これには両親も「何か怖いものがあった…」と言っていました。今でも寝つきは悪いのですが、赤ちゃんのときからなら、もうしょうがないと諦めています。ちなみに妹はいつも5分で寝たらしく、よく比較されて「本当に楽だったわ〜」と言われるのがお決まりになってしまいました…。

コラム

「みんな赤ちゃんだった」



● スタッフ / ます子

私は現在、5歳と1歳3ヶ月の子どもを育てています。私自身3人兄妹の3番目の末っ子として育ちました。まだ私が10代の頃、昔の写真を見ていると、ベビーカーに乗せられて笑っている丸坊主の赤ちゃんが。「この男の子はだれ？」と母に尋ねると、「それはあんたやで」と。「なぜ丸坊主!？」とさらに尋ねると、中耳炎を患い、その事を近所の奥さんに告げたところ、私を外へ連れて行き、帰ってきたら丸坊主だったとの事。でもそれで治ったんやから、という母。当時は「そうか…」と信じていましたが、私も母になった今だからこそ言いたい。丸坊主にしたって、中耳炎は治らないと思う！昔…いや母のおおらかすぎる子育て、おかげでおおらかに育ちましたよ、お母さん。

● スタッフ / ばた

自分もかつては赤ちゃんだった…と思い起こすことすら覚えない年齢になりました。おまけに、子どもたちが巣立ち、彼、彼女たちが小さかったころのことを思い出そうとしますが、その記憶にさえ白い霧がかかっている始末。「そうか、ことほどさように自分は子育てに関わっていなかったんだ」と思い知る今日この頃です。先日、ひょんなことから生後3週間の仔猫を助けたのですが、数時間毎の授乳、排便(尿)のお世話、お身拭い、寝床の掃除など甲斐甲斐しく面倒をみる家内に、あらためて「母(女性)は偉大なり」を痛感した次第。無償の愛あって人は育つ。何を今更…ですが、みんな赤ちゃんだった、注がれた愛情を知るや知らずや。

トットクラブのおもちゃ



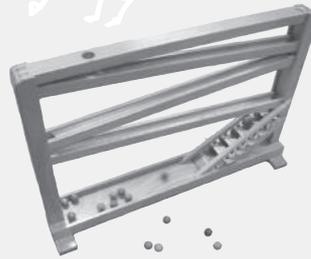
「木製レールウェイ」(BRIO社：スウェーデン)

レール、橋、建物などが自在につながり、お兄ちゃんお姉ちゃんが大好きな汽車セットです。



「プラステン」(nic社：ドイツ)

カラフルな木の輪が大活躍。10個ずつ棒にさしたり、転がしたり、おまごとの料理になったり、オールマイティーに遊べます。輪をなくしても1個から補充できます。



「クーゲルバーン (シロフォン付き)」(Beck社：ドイツ)

クーゲルバーンは「玉の道」という意味のおもちゃで、さまざまなデザインがあります。これはシロフォン(鉄琴)の上にちいさな玉が転がり落ちて、うつくしい音色に。玉は、万が一飲み込んでも安全な素材でできています。



「魚つりパズル」

(ボーンレンド社：日本)

魚の目玉が磁石になっていて、パズルも釣りも楽しめる、トットクラブいちの人気者。たくさん遊んだので2代目を購入しました。なかには本当に魚をくわえるお友だちも!

トットクラブのおはなし会

ある日のプログラム

ピッコリーの「トットクラブ」では、木製おもちゃで自由に遊んだあと、乳幼児向けに15分間のおはなし会を行います。人気のプログラムをご紹介します。

① 「ちょちょちあわわ」わらべうた



トットクラブのはじまりは、いつもこのわらべうた。‘拍手’や‘かいぐり’など、年齢の小さい子どもでも無理なくできる動きです。赤ちゃんには大人がやってみせ、園児のお友だちにはお手本になってもらうなど、年齢を問わず楽しんでいます。



② 『がたんごとんがたんごとん』 安西水丸/さく 福音館書店

がたんごとん…とすすむ電車に、ほ乳びんやスプーンや猫が「のせてくださいーい」とやってきました。さあ、どこに行くのかな？身近なものが登場するので、まだおしゃべりできない子どもたちもこぞって「あー！」「にゃー！」と指さしてくれる、ハズレなしの絵本です。

③ 『おむすびくん』紙芝居 とよたかずひこ/脚本・絵 童心社

紙芝居にも低年齢向けがあります。おむすびくんが口をあけると、赤くて丸いものがとんできて…「ぱくっ、ひゃー、しょっぱい。「うめぼし！」と当ててくれるのは2歳以上のお友だちで、赤ちゃんはそれを尊敬のまなざしで見つめます。参加したお母さんが、「絵本の『ももんちゃん』シリーズと同じ作者ですね」と気付いてくださいました。



④ 「上から下から」わらべうた

(歌詞) うえから したから おおかせ こいこいこいこーい

大きめの布の両端を大人ふたりで持ち、子どもたちは布の下に入ります。歌にあわせて布を上下させ、最後の「こーい！」で手をはなし…布はどこへ落ちるかな？まきおこる風が気持ちよいダイナミックな遊び。お家にある風呂敷でもシーツでもできますよ。

おすすめのわらべうた遊び

♪「一里二里」

(歌詞) いちり にり さんり しり

「一里」で足の親指、「二里」で足首、「三里」で膝を、順番につかんでゆらし、「四里」は「しりしりしり…！」と連呼しておしりをさわります。「一里」とは昔の単位で3.9kmくらい。寝たままでき、だんだん上がってくるスリルが赤ちゃんにはたまらない遊びです。



♪「おすわりやすいすどっせ」



京都のわらべうたです。子どもを膝の上に乗せて、歌のリズムに合わせて上下に動かします。「こけまっせ」の「せ」のタイミングで、大きく足を開いて子どもを床に落とします。びっくりさせすぎないように！年齢の高いお子さんにおすすめです。

おすすめの絵本



『おでかけしようか』 大阪YWCA千里子ども図書室/ぶん 大塚いちお/え 福音館書店 「おでかけしようか」「くつをはいて」「ぼうしをかぶって」…話しかけるような言葉に、写実的な絵、シンプルな背景。はじめて絵本をみる赤ちゃんが、「現実の世界」と「絵」とを結びつけやすいようにつくられています。ブックスタートに最適な一冊です。



『おきたらごはん』 岩合光昭/著 福音館書店 動物たちが眠りから覚めて、おいしそうにごはんを食べる写真絵本。動物が大きく写っており、リアルで迫力があります。「おきたらごはん」という言葉が声に出すと心地よいリズムとなつて響きますよ。

♪「ととけっこうよがあけた」

(歌詞) ととけっこう よがあけた まめでっぼう おきてきな (ばあ！)

トットクラブでこのわらべうた遊びをするときは、ニワトリの手袋人形を使います。「おきてきな〜」でニワトリが箱からひょっこり姿をあらわすと、大人も子どももにっこり笑顔になりますよ。人形がなくても、いないいないばあ遊びとして楽しめます。



『ととけっこうよがあけた』 とげあけみこ/案 ましませつこ/絵 こぐま社 わらべうたが、まるごと絵本になりました。にわとりだけでなく、ねこやぶたも登場しますよ。楽譜が載っていて、子どもを起こすときに名前を入れて歌ってあげると、ご機嫌に起きられるかもしれませんね。



『ぶくちゃんのすてきなばんつ』 ひろかわさえこ/さく アリス館 ぶくちゃんはトイレトレーニングのまっさいちゅう。おしっこがでちゃっても…大丈夫！おかわりばんつ、ありますよ。やさしい励ましに、大人の心もほっとさせてくれるシリーズ。最後のページの「どのばんつがすき？」がお楽しみです。



2016 年度活動報告

運営概況

◆ 開館実績 ◆

	2015 年度	2016 年度
開館日	木～土曜日 10:30～18:00 日曜日 10:30～17:00	木～土曜日 10:30～18:00 日曜日 10:30～17:00
開館日数	202 日	201 日
入館者数	11,986 人 (一日平均/59.3 人)	11,123 人 (一日平均/55.3 人)
貸出冊数	17,463 冊 (一日平均/86.5 冊)	16,654 冊 (一日平均/82.9 冊)

◆ 所蔵資料状況 ◆

資料数 18,394 冊	
児童図書	16,149 冊
成人図書	835 冊
外国絵本	964 冊
雑誌	292 冊 (6 誌)
メディア資料	154 点

◆ 活動報告 ◆ ※ 参加人数は全て実数

1. おはなし会

毎週日曜 15 時半～16 時に、ピッコリーのボランティアグループ「ピッコリーネットワーク (以下、ピコネット)」のメンバーとピッコリースタッフで、絵本の読みかたりや手あそび、紙芝居などを開催。なお、9 月 18 日は瓜生山祭スペシャル、11 月 6 日はおはなし会スペシャルとして実施。

● 実施回数：34 回 ● 参加人数：400 人



2. ブックトークの時間

ピコネットのメンバー主催で、毎月 1 回土曜 15 時半～16 時、テーマに沿って、絵本や読み物、科学の本を紹介。

● 実施回数：11 回 ● 参加人数：97 人



3. おはなしクラブ横丁

京都おはなしを語る会の主催。毎月 1 回、日曜 15 時半～16 時、ストーリーテリングを中心に親子でおはなしを聞く機会を提供。

● 実施回数：12 回 ● 参加人数：178 人



4. ピッコリー映画上映会

芸術文化情報センター映像ホールを使用して、子ども向けの映画上映会 (上映権付) を不定期に開催。各回 10 時 45 分より。参加費無料。

● 実施回数：10 回 ● 参加人数：125 人

<開催内容>

- 4 月 29 日 (金) NHK こどもにんぎょう劇場より「玉様の耳はロバの耳」ほか
- 5 月 5 日 (木) 世界名作アニメーションより「三匹の子ぶた」
- 7 月 22 日 (金) 「蛙になったお姫さま」
- 8 月 22 日 (月) NHK こどもにんぎょう劇場より「うらしまたろう」ほか
- 9 月 22 日 (木) 劇場版ムーミンパペットアニメーション「ムーミン谷の夏祭り」
- 10 月 15 日 (土) NHK こどもにんぎょう劇場より「西遊記」ほか
- 11 月 12 日 (土) NHK こどもにんぎょう劇場より「ごんぎつね」ほか
- 12 月 23 日 (金) 「タンタンの冒険旅行 ビーカー教授事件」
- 1 月 7 日 (土) 「森は生きている」
- 3 月 30 日 (木) 「トムとジェリー 1」

5. 工作会

① 週末の工作会

子どもを対象に、ピコネット及びピッコリースタッフが講師となって土曜13時半～16時に開催。身近な材料を使ったアイデア工作を中心に企画し、毎回大勢の参加がある人気の催し。なお、9月17日は瓜生山祭スペシャルとして実施。

●実施回数：38回 ●参加人数：1011人

<開催内容>

- 4月 「4色フラワー」「ばたばたどり」
他全4回 参加人数96人
- 5月 「ピザ・パーティー」「トコトコ鳥」
他全3回 参加人数103人
- 6月 「万華鏡」「レインボーローイング」
他全3回 参加人数78人
- 7月 「にじ色おぼけ」「七夕かざり」
他全4回 参加人数124人
- 8月 「くるくる夏の風ぐるま」「白い鳥小鳥♪」
他全3回 参加人数72人
- 9月 「ががおおライオン」「すき好きスキ」
他全3回 参加人数76人
- 10月 「魔法のステッキ」「ストローグライダー」
他全4回 参加人数97人
- 11月 「ムーン・タンパリン」「おちばで遊ぼう」
他全3回 参加人数70人
- 12月 「ぼんぼんけん玉」「クリスマス☆レター」
全2回 参加人数56人
- 1月 「ゆきだるまくん、どこいくの?」「コマまわし!」
他全3回 参加人数83人
- 2月 「鳥さんこんにちは」「ダンス!ダンス!」
他全3回 参加人数80人
- 3月 「春いちばんの風カー」「カプセル・いけばな」
他全3回 参加人数76人



6. トットクラブ

乳幼児と保護者対象の活動。「子育てに何かいいもの」をテーマに、木製のおもちゃで自由に遊んだり、手あそびやわらべうた、読み語りを行い、基本的に隔週金曜（月2回）ピッコリー館内で開催。（※「トットクラブ01」はこども芸術大学が主催で別途実施。）

「トットクラブ」

●実施回数：24回 ●参加人数：262人

7. おたのしみ会

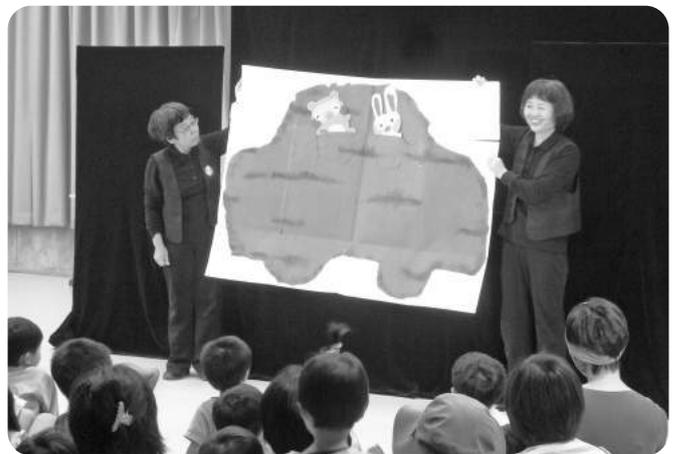
① わくわくおたのしみ会

“人形劇団 あ”を招いて人形劇を観劇。

- 実施日：6月26日（日）11：00～12：00
- 会場：NA102教室 ●参加人数：95人

<プログラム>

1. 人形劇「あかちゃんとおそぼう」
2. 紙しばい「いもほりどっこいしょ」



② クリスマス会（ピッコリー・こども芸術大学の共催）

- 実施日：12月10日（土）10：30～12：00
- 会場：こども芸術大学 ●参加人数：111人

<プログラム>

1. ステージ「たのしいおはなし」こども芸術大学有志
2. ステージ「クリスマスをおう」
くうた部&ふすもんてい。>のみなさん
3. 工作会ワークショップ「かみであそぼう」ピッコリースタッフ



8. ボランティア講座

ボランティア登録説明会を開催し、趣旨に賛同し登録を希望する方に、児童図書館活動と造形活動についての講座を開催。造形活動についての講座は実際の工作会と連動して実施。

① ボランティア講座「子どもと本をつなぐ活動」

- 実施日：5月8日（日）14：00～16：00
- 講師：ピッコリースタッフ
- 会場：映像ホール ● 参加人数：7人

② ボランティア講座「子どもと楽しむ造形活動」

- 実施日：5月21日（土）13：00～16：00
- 講師：ピッコリースタッフ
- 会場：映像ホール ● 参加人数：7人

9. その他の催し

瓜生山地蔵盆

- 実施日：8月20日（土）10：30～15：00
- 会場：こども芸術大学 ● 参加人数：181人

<プログラム>

1. お地藏さんへお参り（こども芸術大学にて）
2. 「アートステージ」
和太鼓演奏（本学 和太鼓サークル「恵」）
ペープサート（こども芸術大学お母さん有志）
ダンス「Monster」（お笑いダンスユニット ムロタムラ）
3. 「アート屋台」
こども芸術大学、通学部学生有志
京都文化日本語学校学生有志、ピコネット
4. 社会人吹奏楽団「PALWINDS」による演奏



そつぎょうてんをみにいこう！

- 実施日：3月4日（土）10：30～
- 会場：京都造形芸術大学 ● 参加人数：12人



10. ピッコリーホームページ (<http://www.piccoli.jp/>)

HP上にて、ピッコリーの発行物デジタルデータの掲載を開始した。

- 1) 2017年1月号より「今月のイベント」ページにピッコリーニュースPDF版をあわせて掲載。3ヶ月分のアーカイブの閲覧が可能。
- 2) 2017年3月より下記PDFを掲載。アーカイブも閲覧可能。
 - ・「新着資料リスト」（毎月25日掲載）
 - ・「今月のテーマ展示リスト」（毎月1日掲載）
 - ・館報「子どもの泉」（年一回発行）

月別アクセス数

4月	5405	10月	5703
5月	5492	11月	5999
6月	6387	12月	6086
7月	6388	1月	5340
8月	6077	2月	5210
9月	5582	3月	3628

11. その他

● 見学

- ・臺北市立大學（台湾） 教員1名 4月8日（金）
- ・京都府立林業大学校 学生2名・教員1名 7月7日（木）
- ・近江八幡市立図書館 職員2名 10月14日（金）
- ・認定こども園さざなみの森 教員3名 10月22日（土）
- ・北白川小学校2年生 学生10名・教員1名 10月27日（木）

● 催事協力

- ・「左京子ども会写生会」主催：左京子ども会連合会
5月28日（土） 会場：京都市動物園（学生参加協力）

● 取材

- ・京阪電車沿線情報誌『K PRESS』2016年11月号
「特集 京阪沿線図書館めぐり」掲載

編集後記

わらべうたのよいところは、正確に歌えなくてもそれなりに聞こえる点です。この号をつくるにあたり、さまざまな楽譜をたしかめていたら、わたしが覚えている「パン屋に5つのメロンパン」（詞：中川ひろたか 曲：イギリス民謡）は、いつのまにか、原曲とまったく違うメロディーになっている（！）という事実に気付いてしまいました。しかしすでに手遅れ。おはなし会で何度も歌ったので、ピッコリー常連のお友だちは、間違ったメロディーで覚えてしまったことでしょう。まさに、伝承ならではの醍醐味ですね…。ごめんなさい。（大橋）

● 38号の所蔵資料の数値に下記の誤りがありました。

- 児童図書【誤】15921冊→【正】16036冊
- 成人図書【誤】950冊→【正】835冊

お詫びして訂正いたします。